

令和 7 年度 地域連携推進会議 議事録

(1) 開催日時

令和 7 年 11 月 18 日 (火) 13 時 00 分～15 時 00 分

(2) 開催場所

倉敷市三田 106 グループホームありがとう三田

(3) 参加者

<地域関係者>

- ・三田民生委員会 代表者
- ・地域代表 A
- ・地域代表 B

<家族・支援関係者>

- ・家族代表

<連携事業所>

- ・連携事業所代表

<法人・事業所関係者>

- ・法人理事長
- ・鳥羽施設長
- ・三田施設長

<欠席> 1 名

- ・利用者 後見人

(4) 進行

1. 法人代表挨拶

地域連携の重要性、災害対策、利用者の安全確保のための協働体制について挨拶があった。

2. 参加者紹介

参加者から所属や地域での関わりについて紹介が行われ、地域として支援を継続したいとの意見もあった。

3. 事業運営概要

3-1 法人・事業所について：理念、地域共生への取り組み、スタッフ体制を説明。

3-2 共同生活援助の制度について：支援内容、対象者、配置基準を共有。

3-3 共同生活援助での日常生活について：生活支援、夜間体制、緊急対応を説明。

3-4 障害特性について：行動特性・配慮点・意思決定支援について共有。

3-5 BCP（業務継続計画）について：災害対応、避難方法、地域協力体制について説明。

3-6 ヒヤリハット報告：年度内の事例と改善策を説明。

(5) 意見交換

■離ホームのヒヤリハット事例

利用者が電子制御を解除し扉を開けて離ホームした事例を共有。チェック体制の強化、環境改善、職員間の情報共有を実施中。

地域側からは『見かけたら協力する』との意見があった。

■物品破損について

通常は利用者へ請求せず、多額の場合のみ一部請求する運用を説明。家族側からは丁寧な対応に感謝する声があった。

■家族会・地域との協力について

家族会は協力的で地域との関係も良好。地域代表からも事業所との良い関係性が心強いとの意見。

(6) 施設案内

管理者より施設内の案内を実施。居室、共用部分、防災設備を確認した。